

## 第2回子育て生活基本調査

小学生・中学生の保護者を対象に  
【2002年実施】

### 調査の概要

#### <<調査概要>>

##### ● 調査テーマ

小学1年生から中学3年生の子どもがいる家庭での子育て生活の実態、および、しつけや教育に関する保護者の意識をとらえる。

##### ● 調査方法

学校通しによる家庭での自記式質問紙調査

##### ● 調査期間

第1回調査 1998年12月

第2回調査 2002年 9月

##### ● 調査対象

###### ● 第1回調査

首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の小学3年生から中学3年生の子どもをもつ保護者4,718名（配布数8,380通、回収率56.3%）。

※ このうち、分析では母親（4,475名）を対象とした。

###### ● 第2回調査

首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）、および、地方都市（四国地方の県庁所在地）、郡部（東北地方）の小学1年生から中学3年生の子どもをもつ保護者9,857名（配布数13,228通、回収率74.5%）。

※ このうち、分析は首都圏の母親（6,085名）を中心に行った。

※ 地方都市・母親（1,438名）、郡部・母親（1,518名）のデータは、地域間比較を行う際に用いた。

※ 第1回調査との比較にあたっては、首都圏・小3～中3の母親（4,896名）のデータを用いた。

※ 経年比較が可能なように、調査テーマ・方法・対象（首都圏の調査校）は、第1回とほぼ同じである。

ただし、調査項目は、時代の変化に合わせて、追加・削除などの多少の変更を行っている。

## ● 調査項目

子育ての悩み・気がかり／しつけや教育の情報源／子育てで心がけていること／家庭の教育方針／子どもの日ごろの様子や生活習慣／子どもの家庭学習の様子／学習へのかかわり／学校の指導への満足度・期待／学力観・勉強観／子どもに希望する進学段階／子どもの休日の過ごし方・希望する休日の過ごし方／習い事・塾の実態／子育ての楽しさ・満足度

## <<分析枠組みとサンプル数>>

1998年調査		小3生	小4生	小5生	小6生	中1生	中2生	中3生	学年不明	
首都圏・母親		492	510	543	585	901	806	621	17	
2002年調査		経年比較 ▶								
	小1生	小2生	小3生	小4生	小5生	小6生	中1生	中2生	中3生	学年不明
首都圏・母親	577	610	612	573	604	603	858	823	823	2
		◀ 地域間比較								
地方都市・母親	176	224	192	184	133	192	94	118	122	3
郡部・母親	195	183	188	181	209	170	113	140	137	2

## 「第2回子育て生活基本調査」調査企画・分析メンバー

- 山岡 テイ (情報教育研究所代表)
- 樋田大二郎 (聖心女子大学教授)
- 木村 敬子 (聖徳大学教授)
- 青柳 肇 (早稲田大学教授)
- 木村 治生 (ベネッセ未来教育センター主任研究員)
- 青柳 裕子 (ベネッセ教育総研研究員)
- 沓澤 糸 (ベネッセ教育総研研究員)